

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ

市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

中高連携で行う「社会人入門セミナー」実施

平成29年2月24日(金)、市川南高等学校にて、高校1年生(360名)と、高谷中学校1年生(160名)対象に、「社会人入門セミナー」講座が開かれました。この講座は、総合的な学習の時間に実施され、中高連携で行うのは、2回目となります。(中高連携については、29年度市川市教育行政運営方針の重要な施策の一つにも掲げられています。)

このセミナーは、市川南高校PTA・OB会の協力のもと開催されています。各業界で活躍されている社会人の話を聞くことで、社会人として必要な力を知り、将来の進路について考えるとともに、今すべきことを生徒に意識させる契機とすることがねらいです。

講座は、15講座の中から、生徒の希望により、各教室に分かれて行います。職種は、栄養調理・看護・介護・ペット美容・警察官・航空乗務員など、多岐にわたります。

自動車整備の教室では、実際のエンジンを生徒が触り、説明を受けながら、故障の原因を説明、確認して修理しました。修理を終えて、屋外で一斉にエンジンをかける様子は、迫力満点でした。



他の講座についても、実物に触れたり、体験をしたりと、様々な工夫がありました。講師の方からは、仕事をするには人とのコミュニケーション能力や挨拶、そして前向きな思考をすることが大事だという話がありました。また、それらの力を身に付けるよう意識して生活することは、将来役立つので、自分に自信を持ちながら、夢をあきらめずに努力してほしいという話もあ

りました。両校の生徒たちにとって、大変充実した時間となりました。

【教育センター】

～生徒の感想の一部抜粋～

〇どの仕事も「ありがとう」といってもらえたらうれしいんだなと思いました。私は将来の夢はしっかり決まっていなくても、これから考えてみるよきっかけとなりました。高校生の真剣に話を聞く姿勢にも刺激を受けました。

〇わたしは社会人セミナーでお話を聞いて、もう少しコミュニケーション能力を豊かにしたいと思いました。わたしはなかなか初めて会う人に話しかけることができないので、もっと積極的になり、コミュニケーション能力を高めたいです。



コミュニティクラブとは…

「みんなで子どもたちを、みんなでボランティア」を合言葉に、「あそび」を通して子供たちを育てるための団体です。今年で21年目を迎えました。全部で16ブロック(15中学校区・1義務教育学校区)に分かれ、地域の小・中学校、義務教育学校、公民館等で活動しています。バスや電車を使って遠くに行くこともあります。一部の活動を除き、どのコミュニティクラブの活動にも参加できます。今回は、活動の一部をご紹介します。

第二中ブロックコミュニティクラブ

茶道体験教室



芳澤ガーデンギャラリーにて、日本の伝統文化である茶道を体験しました。参加した皆さんは、お茶のたて方や礼の仕方など、一つ一つの所作に込められた気配り、思いやりを感じながら体験していました。



【コミュニティクラブ ボランティア大募集】

今回紹介した活動のほかにも、子供たちや親子で楽しむことができる活動をたくさん行っています。各コミュニティクラブの活動は、市川市のホームページや市内の小・中学校、義務教育学校、公民館、図書館等に掲示されている「あそびの情報」で確認できます。多くの方のご参加をお待ちしています。また、「あそび」の企画を一緒にしてくれる登録ボランティアや、子供たちのリーダーとして活躍してくれる中・高校生や大学生のボランティアも募集しています。

興味のある方は、学校地域連携推進課(383-9386)までお問い合わせください。

【学校地域連携推進課】

子ども思い、大人の願いをのせて、心をつなぐ「いちかわ子ども宣言」

市川市教育委員会では、子供たちの規範意識の向上を目的に、市内共通の規範に関する指針を策定しました。

策定にあたっては、子供たちの主体性を尊重し、「人として身に付けたいこと」を募りました。そして、児童生徒、保護者、教職員から寄せられた8,564点の中から23点に絞り、各学校に選定を依頼しました。学校への選定依頼と並行して教育委員会内でも意見を集約し、結果を取りまとめました。

「宣言」は、幼い子供たちにもわかりやすいように、また、集まった様々な「宣言」が含まれるようにとの思いから、簡潔な表現にし、名称は「いちかわ子ども宣言」としました。

応募及び絞込みでは、「いじめをしない」などのいじめを許さない言葉が多く集まりました。検討の末、相手を思いやる、自他の命を大切にすることの望ましい行動を示すことで、いじめのない社会を作っていくことの思いを持って策定しました。

今後は、「いちかわ子ども宣言」を市内共通の指針として、家庭、学校、

地域が連携して心の教育の充実を図りたいと考えています。なお、「いちかわ子ども宣言」は、平成29年3月に全児童生徒及び教職員に配付し、市川市立各幼稚園、小・中学校、義務教育学校、特別支援学校にて掲示しています。また、市川市立図書館、博物館、公民館にも掲示し、多くの市民の方にも知っていただき、長く受け継がれることを願っています。【指導課】

心をつなぐ せんげん

いちかわ子ども宣言

KAWAYI

十九 八 七 六 五 四 三 二 一

わたしたちは、守っていきます

- 友だちとなかよくします
- 思いやりの心をもちます
- ありがとうを伝えます
- 家族を大切にします
- 勇気をもってチャレンジします
- 最後まで取り組みます
- 自然や生き物を大切にします
- ルールやマナーを守ります
- 進んであいさつをします
- 自分の命も人の命も大事にします

～ 人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育 ～

「いちかわ子ども宣言」は、市川市立小・中・義務教育学校・特別支援学校に通う児童生徒、保護者、教職員等から寄せられた「人として身に付けたい」と思う規範をまとめたものです。子ども達にとってはよりよく生きていきたいの思いが、同時に大人にとってはよりよく生きてほしいの思いが込められています。

平成29年3月 市川市教育委員会

※市川市教育委員会のホームページからダウンロードして印刷することができます。

学校を美しく! 花ボランティアの取組 Part1

富美浜小学校では、3月16日(木)、卒業式前日の午前中に「花ボランティア」の保護者・地域の方が15名ほど集合して、学校の玄関や卒業生の昇降口等を花で飾りました。



この活動は、約6年前に、学校をきれいにしたいという当時の校長先生の依頼で、自治会や地域の方をリーダーに、保護者に声をかけて始まった活動です。

活動を始めた年、学校には花も少なく、ボランティアの保護者も何をすればよいのかわからないことが多く、ボランティアの中心となって活動されている武田さん、松原さんの指示を待っている状況での活動

でした。月に1回1~2時間の活動ですが、回数を重ねるうちに保護者も、楽しみながら取り組んだり、続けて参加したりと、今ではすっかり草花のことに詳しくなっています。



当日も、最初に「今日は卒業式のための準備をしていきましょう」という武田さん、松原さんの声かけで、一斉に保護者が活動を始めました。菜の花の植え替えや寄せ植えや、プランターの運搬・配置、雑草抜き、清掃、花がらつみなど一人一人ができることを、自主的に行います。迷った時には、お互いに相談したり、確認したりして作業を進めていました。

地域の方が、次第にきれいになっていく学校

の様子を見て、ボランティアで桜の木など剪定したり、たい肥を寄付したりしてくれることもあるそうです。このように、地域・保護者・学校の連携で長年続くこの活動のよさを、多くの学校に広め、花いっぱいの学校を皆の力で作り上げ、守っていききたいと、武田さんは考えています。

【教育センター】



★各学校の講師募集★

市川市教育委員会では、市内の公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校に勤務できる講師等を随時募集しています。

1. 募集職種

- (1) 県費講師：産前産後休暇等の代替による学級担任や教科担任
- (2) 市費補助教員：教科の指導のサポート及び学級担任等の補助

2. 応募資格

- (1) 希望校種または担当教科の教員免許状を所有かつ修了確認期限が有効な方
- (2) 地方公務員法第16条の欠格事項及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない方
- (3) 教職に必要な見識と熱意も持った、心身ともに健康な方

3. 応募方法

*義務教育課・教職員班へ電話でご連絡ください。
TEL 047-383-9261

4. その他

- *採用につきましては、欠員が生じた場合に応募者の中から再度面接の上、決定します。
- *応募後、すぐに採用されるものではありません。



【義務教育課】

子供にかかわる相談は、
ここです！

◆教育相談(教育センター)

予約TEL 047-320-3336 火~土(午前9時~午後5時)
対象：3歳~中学校3年生
様々な悩みに関して専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。

◆ほっとホット訪問相談(教育センター)

TEL 047-320-3362 火~金(午後0時30分~午後5時)
対象：小学校1年生~中学校3年生
不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に向いてお話を伺うこともできます。

◆少年相談(少年センター)

TEL 047-320-3340 月~金(午前9時~午後5時※木は午後7時)
メールアドレス youngnet@city.ichikawa.chiba.jp 対象：小学校1年生~20歳未満
家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(電話、メール相談あり)を受け付けています。本人の相談も可能です。

【教育センター】



『オープン・スクール・デー』

市川市小・中学校、義務教育学、特別支援学校では、「地域に開かれた学校づくり」の一環として、自校の教育活動を、保護者だけでなく地域住民の皆様にも見ていただける『オープン・スクール・デー』を設定しています。詳細については、各学校へお問い合わせください。日程につきましては市川市のWebサイトに掲載しています。

【義務教育課】

市川市ホームページ

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/index.html>



平成28年度 市川市児童・生徒学習賞 ~ここ数年で最多の59件を表彰~

3月23日(木)、平成28年度市川市児童・生徒学習賞の表彰式が昭和学院伊藤記念ホールにて行われました。

この賞は、学校等の教育活動において、県・関東・全国規模の大会等に参加し、最優秀またはそれに準ずる成績を収め活躍した個人・団体に与えられるものです。

38回目となった平成28年度の受賞は昨年度よりさらに2件増え、59件(個人40件・団体19件)となりました。受賞者及び受賞団体には、田中教育長から賞状が、井上学校教育部長から記念品がそれぞれ授与されました。小学

2年生から中学3年生まで、受賞者のみなさん一人一人が凛とした姿で賞状を受け取っていました。田中教育長からは、お祝いの言葉とともに、女子レスリング選手であり国民栄誉賞を受賞した伊調馨選手を例に挙げ、常に高みを目指し、弛まぬ努力を積み重ねること、自分を信じ最後まであきらめない強い心をもつことが大切であるとの話がありました。受賞された児童生徒の皆さん、おめでとうございます。

受賞者名及び受賞団体名や表彰件名等については、市川市教育委員会のホームページに掲載していますのでご覧ください。

【指導課】